

コレクション展示

横浜真葛焼優品展

12月20日(土)～2月22日(日)

横浜の誇る近代日本のやきもの「真葛焼」は、宮川香山(初代)(1842～1916)がはじめた陶磁器を指します。香山は明治4年(1871)に現在の横浜市南区で輸出用陶磁器制作を始めました。

真葛焼の名は、香山が生まれた京都東山の「真葛ヶ原」に由来します。香山は窯業の伝統のなかった横浜で陶土探しから始め、様々な細工や釉薬に工夫をこらし、装飾性に富む多くの質の高い作品を世に送り出しました。

また、明治の始めには国内・国外の様々な博覧会に出品し、毎年のように受賞に輝き、「真葛焼」の名は広く知れ渡るようになりました。香山が世を去った後は息子たちが真葛焼を継承しますが、昭和20年の横浜大空襲の際、3代目にあたる後継者が犠牲となり、この伝統は途絶えたままになっています。

今回はこの「幻の名窯」ともいわれる真葛焼を、当館所蔵の真葛コレクションの中から、約30点を選んで展示します。



- ◇ 会場 コレクション展示室
- ◇ 展示数 約30点
- ◇ 観覧料 無料
- ◇ 休館日 月曜日(1/12は開館)
・12/29(月)～1/3(土)
1/13(火)・2/12(木)

◇学芸員による展示案内
1月11日(日)午後1時30分～



神奈川県立歴史博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60
Tel.045-201-0926 Fax.045-201-7364
<http://ch.kanagawa-museum.jp/>

- JR根岸線：桜木町駅・関内駅
- 東急東横線：桜木町駅
- 市営地下鉄：桜木町駅・関内駅
各駅からいずれも徒歩8分
- みなとみらい線：馬車道駅から
徒歩1分(2004年2月開業)

